

綿 スフ 織物情報

2022年(令和4年) 5月号 Vol. 1874

発行所: 一般財団法人 日本綿スフ機業同交会
東京都港区西麻布 1-8-7 綿工連会館 2F
TEL(03)3403-9671 FAX(03)3403-9679
URL: <https://www.jcwa.jp>

主な内容

「T・N JAPAN 東京展2023S/S」開催／「JFW Premium Textile Japan 2023S/S」出展予定／令和4年度予算「省エネ補助金」公募予定／綿工連3団体監事監査実施／「責任ある企業行動ガイドライン」第3回策定委員会開催／令和3年度自主行動計画フォローアップ調査結果／中小企業のDXに役立つ「手引き」と「AI導入ガイドブック」取りまとめ／2022年版「中小企業白書」(中小企業・小規模企業施策)閣議決定／「2022年度版中小企業施策利用ガイドブック」、「令和4年度税制改正」発行／綿工連産地・企業の新聞記事一覧(2022年4月)／特許公開情報

●「T・N JAPAN 東京展2023S/S」開催

4月19日(火)～20日(水)の2日間、東京中目黒で「T・N JAPAN 東京展23春夏」が開催された。テーマは「春は華×光る夏」。綿工連産地から遠州の杉浦テキスタイルと辻村染織(HCN 浜松コットンネットワーク)、福田織物(天龍社)、遠孫織布(播州)が出展した。

●「JFW Premium Textile Japan 2023S/S」出展予定

5月25日(水)～26日(木)の2日間、東京国際フォーラムで「JFW Premium Textile Japan 2023S/S」開催される。綿工連産地から古橋織布(遠州)とカイハラ(広島)が出展する。

●令和4年度予算「省エネ補助金」公募予定

4月18日、令和4年度予算による「先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金」の公募予定が公表された。2050年のカーボンニュートラル実現に向けて更なる省エネ設備投資の推進が求められるなか、足元では世界的にエネルギー価格が高騰しており、エネルギー消費機器の効率化による燃料・電力の消費抑制を図ることが喫緊の課題となっている。

本事業は産業・業務部門における性能の優れた省エネ設備への更新事業に要する経費の一部を補助することで、需要側における燃料・電力の消費抑制に資する取組を促し、エネルギーコストの削減を目指すことを目的とする。対象となるユーティリティ設備は高効率空調、

変圧器、高性能ボイラー、産業用モータなど。予算額は253.2億円、公募開始は5月下旬予定。

○公募情報URL: <https://sii.or.jp/cutback04/overview.html>



※新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者への支援パンフレット(随時更新)

<https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/pamphlet.pdf>



※業種別支援策リーフレット(製造業向けは 3/18~4/18ページ)

<https://www.meti.go.jp/covid-19/leaflet/leaflet.pdf>



●綿工連3団体監事監査実施

4月26日(木)、東京の綿工連会館において日本綿スフ織物工業組合連合会、日本綿スフ織物工業連合会、一般財団法人日本綿スフ機業同交会の監事会が開催された。当日は、3団体の2021年(令和3年)度決算関係書類、事業報告書等について監査され了承された。

●「責任ある企業行動ガイドライン」第3回策定委員会開催

4月28日、日本繊維産業連盟が策定準備を進めている標記ガイドラインの第3回策定委員会がオンラインで開催され、示された同ガイドライン(案)について検討した。このガイドライン策定趣旨については本誌2021年9月号に掲載。

●令和3年度自主行動計画フォローアップ調査結果

4月7日、「下請等中小企業の取引条件改善」に向けて各業界団体が策定した「自主行動計画」について、令和3年度の取組進捗状況についてのフォローアップ調査結果が公表された。また、平成29年より下請Gメンにより実施している下請中小企業へのヒアリング調査結果についても概要が公表された。

1. 自主行動計画フォローアップ調査の結果概要

自主行動計画策定団体所属(繊維は日本繊維産業連盟ほか1団体)の会員企業7,288社に調査票を発送し、2,376社から回答。重点課題においては、下請代金の支払条件について「現金払い化」「手形等のサイト短縮」が若干改善した一方で、「価格決定方法の適正化」で「労務費」、「原材料価格」、「エネルギー価格」の「取引対価への反映」状況は若干悪化。発注側・受注側の認識のズレは各課題で依然として生じており、引き続きの課題となっている。

○<https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/shingikai/torihikimondai/2022/220303/jmu/03.pdf>



2. 下請Gメンヒアリング調査の概要

令和3年4月から12月にかけて調査した4,528件(繊維は739件、2.7%)の下請Gメンヒアリング調査の情報をもとに、自主行動計画策定業種を中心に、各業種で特徴的に見ら



れる取引上の問題と課題を集計分析した結果は下記の通り。

2-5. 繊維産業

【凡例】○：よい事例、▲：問題のある事例

取引対価

・最終販売価格が先に決まっているために、各段階で価格が引き上げられず、利益が上がらない構造となっている、との指摘がある。
・しかし、ユーザー企業との直接取引が増え、指値発注や歩引きといった悪い商慣習が徐々に改善してきている、との指摘も見られる。

- ▲ アパレル業界では、最終販売価格が先に決まっており、その価格に合わせる為に、各段階の業者が、過剰な価格協力を求められる事が当たり前で、利益が薄い。
- ▲ 新規品は最終価格が決まっている製品が多く、当社の加工賃の価格も自ずとターゲットプライスを提示される。
- ▲ 指値もたまにあり、なかには断り切れない場合もある。
- 十年近く前までは「問屋」経由の取引が中心で、指値発注や歩引きといった悪い商慣習が続いていたが、近年はユーザー企業と直接取引をするようになり、価格決定面では徐々に改善してきている。

支払条件

・支払方法の現金化が見られる事例もあるが、依然として60日を超える期日指定現金など、長期の支払期間の事例が見られる。
・下請法対象外取引（資本金区分、自社製品）では、支払期間が長い取引が極めて多く、支払条件の更なる改善が課題。

- 交渉した結果、すぐに手形(サイト90日)から、100%現金に変更された。
- ▲ 新規取引先には現金払いをお願いしており、現金払いは増加しているが、従来からの取引先の支払い条件には変化はない。
- ▲ ユニフォームを納品しているが、支払条件が月末締め、90日後払いの期日指定現金となっている。（下請法対象取引）
- ▲ 電子記録債権 サイト：生地120～150日（資本金区分から下請法対象外）

減額（歩引き）

・歩引きの慣習が依然として残っているとの指摘がある。自主行動計画では歩引き取引の廃止が謳われているところであり、その徹底が必要。

- ▲ 歩引きが下請法の対象外の中小事業者間で商習慣として残っている。
- ▲ 一部では歩引きの慣習も残っている。大手企業はブランドイメージを大事にしているため、エビデンスとなるようなものは残さない。

在庫保管

・自主行動計画では、引取期日を過ぎた在庫保管等に対するコスト負担につき、事業者間で協議を行った上で取り決める、と定めており、その取り組みが進んできていることを示す事例が現れている。ただし、売れ残りの在庫負担の指摘があり、自主行動計画では不十分。

- ▲ 取引先の売れ残りは完成品在庫として保管している。保管料は貰っていない。製品の現金化が1年後になる場合もあり、繊維では当たり前の悪しき商習慣である。
- 1990年頃から完成品預かりが常態化し負担となっていたが、親事業者全般と交渉し、保管料のルール設定ができた。

知財保護

・設計図、デザイン、営業秘密などの知財に対し、保護されるべきものであるとの意識喚起が業界全体で必要。

- 以前は見積もり時に提出したデザインが、受注できなかった際に当社に無断で他社に使用されたこともあったが、2018年頃から繊維産業流通構造改革推進協議会（SCM推進協議会）、大阪府被服工業組合で問題提起され、現在はなくなりつつある。
- ▲ ユニフォームの機能性、デザインに関しても商標を登録しているわけではないので、他社が同様なデザインを使用しても当社では問題にすることはない。業界全体でも類似商品が出て問題にせず、あきらめているようである。
- ▲ 親事業者指定のフォームでの見積もりの詳細内訳提出要請があるが、当社の製造原価等の秘密事項を開示することにも繋がるので提出したくない。

16

○ <https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/shingikai/torihikimondai/2022/220303/jmu/04.pdf>



●中小企業のDXに役立つ「手引き」と「AI導入ガイドブック」取りまとめ

経産省は、この程、中堅・中小企業等のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進に向けた、「中堅・中小企業等向け『デジタルガバナンス・コード』実践の手引き」と、中小企業がAIを導入する際のノウハウをまとめた「中小企業向けAI導入ガイドブック」を取りまとめた。

「中堅・中小企業等向け『デジタルガバナンス・コード』実践の手引き」では、DXの進め方や、デジタルガバナンス・コードを実践している事例等を紹介。

また、「中小企業向けAI導入ガイドブック」は、中小企業が自社の状況を踏まえて適切な導入方法を判断し、自社主導でAI導入を進めることを目的とし、どうやって始めればいいのかわからない、「AI導入に対して、いつ・どのようなステップで意思決定すればいいのかイメージができない」、

などの悩みを抱える中小企業経営者及び担当者向けに、チェックリストやワークシートを埋めていくことで具体的な導入手順が学べる内容となっている。

- 中堅・中小企業向け『デジタルガバナンス・コード』実践の手引き(要約版)

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dx-chushoguidebook/tebiki-yoyaku.pdf



- 経産省 中小企業のAI活用促進について

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/AIutilization.html



●2022年版「中小企業白書」(中小企業・小規模企業施策)閣議決定

中小企業庁では、「令和3年度中小企業の動向」及び「令和4年度中小企業施策」(中小企業白書)、並びに「令和3年度小規模企業の動向」及び「令和4年度小規模企業施策」(小規模企業白書)を取りまとめ、4月26日に閣議決定された。

2022年版白書では、新型コロナウイルス感染症の流行や原油・原材料価格の高騰等の外部環境に直面する中小企業・小規模事業者の動向、中小企業・小規模事業者のそれぞれが自己変革に向けて新たな挑戦を行うために必要な取組について企業事例を交えながら分析を行った。

- <https://www.meti.go.jp/press/2022/04/20220426003/20220426003-2.pdf>



●「2022年度版中小企業施策利用ガイドブック」、「令和4年度税制改正」発行

中小企業庁発行の2022年度版中小企業施策利用ガイドブック、及び財務省発行令和4年(2022年)度税制改正は下記 URL にて閲覧できる。Web申込により冊子も入手可能。

- 中小企業施策利用ガイドブック

https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/g_book/2022/index.html



- 令和4年度税制改正

https://www.mof.go.jp/tax_policy/publication/brochure/zeisei22.html



●綿工連産地・企業の新聞記事一覧(2022年4月)

繊維ニュース

- 4月 1日 遠州産地発のアパレルブランド【ハウス】 根強いファン創出し販売好調
- 4月 1日 岡山県織物生産 2月は3.4%増 帆布・厚織が回復基調(岡山県工業協組纏め)
- 4月 4日 坂上織布 織機10台入れ替え 効率化、再現性向上へ(大阪南部)
- 4月 4日 三備産地 産業観光の動き強まる 産地ならではの体験を
- 4月 6日 綿工連 大阪事務所を閉鎖



- 4月 6日 尾州産地 後継者難や人手不足が加速 生産のタイト化が一段と進行
- 4月 8日 『きいボード』 タマキニイメ 地場産業を元気に(播州)
- 4月13日 『往来』 福山ティFC 岡本佳大代表 クラブとして福山デニムをPRしていきたい(広島)
- 4月15日 丸山繊維産業 北米やオセアニアで好評 蚊帳生地使いのタオルなど(奈良)
- 4月15日 播州織産地 廃棄生地を工業用部品に 収益はウクライナに寄付
- 4月18日 デニムPV 5月17, 18日ベルリンで 日本から2社、クロキ出展(備中)
- 4月21日 国内産地の繊維企業 強みの深化で存在感発揮 コロナ禍でも顧客増 遠糸織布(播州)
- 4月22日 粗目織物産地の奈良で 丸山繊維産業 キッチンタオルを海外へ、笹田織物 国内の新規顧客開拓に
- 4月22日 岡山県 海外展へ出展補助
- 4月25日 熊本・人吉市長が西脇市訪問 20年の災害支援に謝意 播州織工場を視察
- 4月25日 オーダージーンズで新体制 YUNA STYLE 使用するデニムはクロキ製(備中)
- 4月26日 ショーワ 23春夏 サステ関連生地が人気 販促ツールも充実、拡販へ(岡山)
- 4月26日 ビールの副産物をデニムに「Rinnovation」 織布は篠原テキスタイル(広島)
- 4月28日 児島フェス#せんいさい 特設ウェブと分散型フェスで開催 4月28日~5月15日(岡山)
- <春季総合特集II> 国産生地の魅力を訴求する
- 4月22日 遠州発として存在感高める「ハウス」 生地や産地の細かな情報発信
- 4月22日 東海産地の生地にこだわる「渦 japan」 草木染めで“味”を加える
- <どうなる産地の4~6月>
- 4月12日 高島 不透明感徐々に強く
- 4月14日 尾州 回復傾向も「織る場所がない」
- 4月15日 播州 回復は実感できず
- 4月18日 遠州 糸値などコスト高が不安材料
- 4月21日 三備 19年時まで回復した工場も

織研新聞

- 4月 1日 綿織物産地素材展 綿織物メーカー 技術応用し新素材 用途開拓や価値向上に力
- 4月 7日 T・N JAPAN 東京展23年春夏 福田織物(天童市)、杉浦テキスタイル、辻村染織(浜松HCN)、遠糸織布(播州)出展
- 4月19日 タカヤ商事【RNA】22年夏 ジャンクでルーズなスタイル(備中)
- 4月20日 タカヤ商事【RNA-N】【アーチRNA】22年夏 ナチュラルに麻 ワークウェアを進化ブランドの強み前面に(備中)
- 4月25日 オーダージーンズ ユナスタイルとミー洋裁学院 使用デニムはクロキから仕入(備中)
- 4月27日 『ものづくり最前線 =日本の逸品=』 ショーワ ナイロンデニム ナイロンを中白に染める(岡山)

- 4月27日 あいちNAUプロジェクト、一宮市で2回目のイベント 参加者が縄をなう体験 県下7カ所で
- 4月28日 デニム大手のカイハラ 国内の設備投資に注力 21年度は売上高・利益微増(広島)
- 4月28日 熊本県人吉市長が播州織産地を訪問 物作りがつかないだ支援に謝意

信用情報

3月24日 綿工連 第9回綿織物産地素材展開催 地産地消のサステナブル素材を披露
 ○上記「信用情報」の記事を4月号にて「織研新聞」と誤載しました。正しくは「信用情報」
 です。お詫びとともに訂正します。

●特許公開情報

2022年4月に公開された織物の製造方法に関する、特許公開情報です。

特許電子図書館 HP: <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

検索範囲: 4L048, D03D1/00~D03D27/00

[特許公開情報]

(2022年4月公開分)

< 4月分 >

項番	文献番号	出願人	発明の名称
1	特開 2022-054363	妙中パイル織物(株)	交差パイル等のパイル織物
2	特開 2022-054364	妙中パイル織物(株)	スリップ抑制パイル織物、及び、その製造方法
3	特開 2022-054713	森保染色(株) 愛宕織物(株)	アラミド繊維による補強用テープ
4	特開 2022-054847	三菱ケミカル(株)	繊維基材、炭素繊維強化複合材料、及び繊維基材の製造方法
5	特開 2022-056684	クラレトレーディング(株) エーアイシルク(株)	導電性繊維構造物および生体電極
6	特開 2022-057313	ログイン(株) (株) ITO知財インベストメント	導電性を有するマルチフィラメント糸
7	特開 2022-057314	ログイン(株) (株) ITO知財インベストメント	導電性を有する編物又は織物
8	特開 2022-057315	ログイン(株) (株) ITO知財インベストメント	導電性を有する編物又は織物体
9	特開 2022-057803	大和紡績(株)	可撓性積層体、その製造方法、およびそれを用いた防水性製品



10	特開 2022-057925	東レ(株) カジナイロン(株)	ナイロン複合仮燃系からなる織編物
11	特開 2022-059161	槌屋ティスコ(株)	紛体シール材
12	特開 2022-060610	(株)infoBANK	竹繊維を使用して織編みした生地及びその製造方法
13	特開 2022-061122	東レ(株)	織編物
14	特開 2022-061288	帝人(株)	紡績糸および布帛および繊維製品
15	特開 2022-062100	キューイーディー ラブズ インコーポレイテッド(米)	溶融性イントメッセント系難燃剤組成物
16	特開 2022-063290	旭化成(株)	ガラスクロス、プリプレグ、及びプリント配線板
17	特開 2022-063492	平岡織染(株)	高強度ターポリン及びその製造方法
18	特開 2022-063847	旭化成(株)	低誘電ガラスクロス、プリプレグ、及びプリント配線板
19	特開 2022-063987	東レ(株)	混織糸、それを用いた織編物およびその製造方法ならびにブラックフォーマル衣料
20	特開 2022-064041	帝人(株)	布帛および防護製品

4月の行事

4月26日 …………… 綿スフ工連／綿工連／同交会監事会(綿工連会館)

4月28日 …………… 責任ある企業行動ガイドライン第3回策定委員会《オンライン》

5月以降の行事

5月14日 …………… 綿工連綿's倶楽部委員会(大阪・綿業会館)

5月18日 …………… 第142回繊維通商問題委員会《オンライン》

5月24日 …………… 綿スフ工連／綿工連通常総会、同交会理事会・評議員会(名古屋)

5月25～26日 …… JFW Premium Textile Japan 2023S/S(東京国際フォーラム)

いいものはきもちいい。
——こだわりの品質、ジャパン・コットン。

JAPAN
COTTON



Pure Cotton



綿100%
「ピュア・コットン・マーク」

JAPAN
COTTON



Pure Cotton

綿混率50%以上
「コットン・ブレンド・マーク」

JAPAN
COTTON



Cotton Blend

日本で生まれて日本に育った私たちは、日本人だけに分かる心地よさを知っています。たとえば、春の日溜まりのぬくもり、夏の打ち水の涼しさ、障子からもれる明かり、鈴虫の音色。日本人だからこそ分かる本当の快適さを、しっかりと保証するための印を作りました。

ジャパン・コットン・マーク。日本国内で製造した高品質の綿素材を使用した製品だけに、その優れた品質を保証して添付されます。